

研究課題番号	1-2002
研究課題名	社会と消費行動の変化がわが国の脱炭素社会の実現に及ぼす影響
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	金森 有子

1. 委員の指摘及び提言概要

定量的評価を踏まえた行動変容の研究になっている。また、政府の排出削減目標の前倒しに対応したシナリオに基づいて研究を進めていることを評価する。現時点でも報告書等を通して行政への貢献があるが、サブテーマ相互の関連性を明確にして、“どのような社会変化や消費行動の変化が必要か”を示して頂きたい。例えば、埼玉県における具体的な消費行動や ICT シナリオを地域分析に生かした上で、それらの例を踏まえてサブテーマ2が実施されているのか、その結果がどうサブテーマ1にフィードバックされるのか等である。2050年に向けてはブレークスルーのあるシナリオ形成が非常に重要であるが、それに対するイメージを提示して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：A